



角川武蔵野ミュージアム
Kadokawa Culture Museum

公益財団法人
角川文化振興財団
Kadokawa Culture Promotion Foundation

公益財団法人角川文化振興財団
2026年4月23日

**銀河鉄道の乗客となって、鉄郎やメーテルと一緒に宇宙を旅する
銀河を体感し物語に没入する、映画を空間に拡張した新しい映像体験
『銀河鉄道 999 THE GALAXY EXPERIENCE あの旅は、まだ続いている。』
今週末の開幕を前に、見どころなどの最新情報をお知らせ**

公益財団法人 角川文化振興財団（所在地：埼玉県所沢市、理事長：船津康次、以下 角川文化振興財団）が、「ところざわサクラタウン」内、「角川武蔵野ミュージアム」（館長：池上彰）の1階グランドギャラリーにて2026年4月25日（土）より開催する、『銀河鉄道 999 THE GALAXY EXPERIENCE あの旅は、まだ続いている。』について、最新情報をお知らせします。

■ 999号に乗り、銀河の旅を体感する。最新テクノロジーが実現する3次元空間への没入体験

『銀河鉄道 999 THE GALAXY EXPERIENCE あの旅は、まだ続いている。』は、アニメ映画の不朽の名作、1979年に公開された劇場版「銀河鉄道 999」を拡張し、映画として見るのではなく空間として体験する展覧会です。

観客は映像の鑑賞者としてではなく、全員が銀河鉄道の乗客となって宇宙へと旅立ち、物語の中を通り抜ける約30分間の映像を体感します。

《展覧会の見どころ》

● 映画のファンも、初めて見る人も楽しめる、銀河の旅人となる圧倒的な映像体験

物語の体験は会場の入口から始まっています。ホワイエには銀河鉄道をイメージした客車が置かれ、客席に腰掛けると車窓には銀河が広がり、地球へ向かう999号が走り抜けます。

主人公・星野鉄郎の旅立ちに触れる映像を見ながらどきどきするのは出発駅、メガロポリス・ステーション。約1,000mの空間に、本展のために新たに導入した32台の最新4Kレーザープロジェクターで映し出される映像空間です。広大な空間で音と光に包まれて、銀河鉄道999の世界に入り込み、鉄郎とともに銀河の旅人となります。

本展では、1979年に公開された劇場版「銀河鉄道 999」へのリスペクト込めて、映画の外側に広がっていたかもしれない空間まで拡張し、物語世界の中に“存在する”という体験を提供します。作品を愛するファンはもちろん、宇宙を旅するデジタルアトラクションとしても堪能でき、世代を超えてお楽しみいただけます。

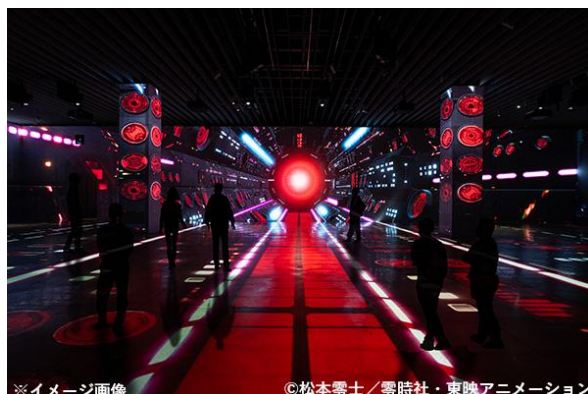


展覧会キービジュアル



※イメージ画像

©松本零士／零時社・東映アニメーション



※イメージ画像

©松本零士／零時社・東映アニメーション

会場内（イメージ画像）



会場内（イメージ画像）

● 音楽は川井憲次による書き下ろし楽曲。旅の最後を飾るのはゴダイゴ不朽の名曲

今回の物語のために、作曲家・川井憲次が全編にわたり楽曲を書き下ろし、拡張された映画の世界に新しい息吹を吹き込みます。会場には立体サウンドを導入し、音楽はもちろん、劇中のセリフや効果音も含めて臨場感あふれるサウンド空間を実現しました。

旅の最後に空間を包むのはゴダイゴの名曲「銀河鉄道 999（THE GALAXY EXPRESS 999）」。新たな旅立ちの映像とともに、壮大な叙事詩を締めくります。

● 言葉と資料を通じて触れる、現代に繋がる松本零士の描いた思想

映像空間で体験した旅の余韻の中、来場者は 25 メートルにわたる線路の上を歩きます。その中で物語を彩るセリフがあらわれては通りすぎ、旅の記憶となって来場者の心に積み重なります。

その先には、制作の裏側や劇場版の設定資料を展示。作品世界を詳しく知ること、松本零士の描いた宇宙と思想に触れることができます。

機械化人への憧れや、「永遠の命か限りある命か」というテーマは、AI などのテクノロジーによって身体や存在のあり方が問われる現代において再び現実性を持つものです。松本零士の言葉と思想を通じて、人間本来の素晴らしさや人が旅をする理由を見つけます。

■ 展覧会パンフレット、オリジナルグッズ

本展覧会のために新たに制作したオリジナルパンフレットを販売します。劇場版「銀河鉄道 999」の作品紹介とともに、制作秘話や設定資料などを掲載。さらに今回の展覧会制作スタッフによる、作品への思いや見どころを収録。「銀河鉄道 999」の世界を深掘りし、新しくなった作品の背景を知る貴重な一冊です。

他にも、本展に合わせて作られた角川武蔵野ミュージアムオリジナルグッズを館内「ロックミュージアムショップ」にて販売。ここでだけ手に入る貴重なアイテムをチェックしてください。詳細が決まり次第、展覧会公式サイトでお知らせします。



パンフレット表紙（イメージ）

■ 発車時刻（上映開始時間）

10:10 / 10:50 / 11:30 / 12:10 / 12:50 / 13:30 / 14:10 / 14:50 / 15:30 / 16:10 / 16:50 / 17:30

※映像の途中からでもご覧いただけますが、最初からの視聴をお勧めします。

【展覧会概要】

展覧会タイトル：銀河鉄道 999 THE GALAXY EXPERIENCE あの旅は、まだ続いている。

英語タイトル：GALAXY EXPRESS 999 The Galaxy Experience –The Journey Goes On.

会場：角川武蔵野ミュージアム 1 階 グランドギャラリー

住所：埼玉県所沢市東所沢和田 3-31-3 ところざわサクラタウン内

会期：2026年4月25日(土)～2026年10月26日(月)

休館日：毎週火曜日、6月1日(月)～5日(金)

※ただし5月5日(火・祝)、8月11日(火・祝)、9月22日(火・祝)は開館

営業時間：10:00～18:00 (最終入館は 17:30)

展覧会公式サイト：<https://kadcul.com/event/260>

主催：角川武蔵野ミュージアム (公益財団法人 角川文化振興財団)

チケット価格(税込)：オンライン購入、当日窓口購入

一般(大学生以上)：2,700 円／中高生：2,200 円／小学生：1,500 円／未就学児：無料

※「1DAY パスポート」チケットでは、本展に加え本棚劇場を含む当館のスタンダードチケットエリア (常設展エリア) をご覧いただけます。
詳細は公式サイトでご確認ください。

* 休館日、開館時間は変更となる場合があります。最新情報、詳細は公式サイトでご確認ください。

* 展示内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

■「角川武蔵野ミュージアム」について

図書館、美術館、博物館が融合した文化複合施設 (館長：池上彰)。
初代館長の松岡正剛氏が世界を読み解く 9 つの文脈に沿って独自の配架をした「ブックストリート」、博物学者の荒俣宏氏が監修する「荒俣ワンダー秘宝館」、「本と遊び、本と交わる」をテーマにした「本棚劇場」、これら「エディットタウン」は当館のメインエリアです。本棚劇場では、360 度を取り囲む高さ 8m の巨大本棚にプロジェクションマッピングが映し出されます。
また、マンガや多数の出版社のライトノベルが並ぶ「マンガ・ラノベ図書館」や、企画展が開催される「グランドギャラリー」など、松岡氏が提唱した「想像力とアニメに遊ぶミュージアム」として、様々な「まぜまぜ」を提供します。
建築デザイン監修は隈研吾氏、アート部門ディレクターは神野真吾氏。



© 角川武蔵野ミュージアム

公式サイト：<https://kadcul.com/>

X：https://x.com/Kadokawa_Museum

Instagram：

https://www.instagram.com/kadokawa_culture_museum

Facebook：

<https://www.facebook.com/kadokawaculturemuseum>

一般の方からのお問い合わせ：0570-017-396 (受付時間：10:00-18:00)

■角川文化振興財団について

角川文化振興財団は「わが国の文化の振興に寄与する」という財団の設立目的の実現のために、文芸の成果に対する顕彰、文芸に関する出版、文芸の研究や著述の刊行への助成、映画芸術振興に関する助成、また文芸・映画資料の収集・保存・展示等、様々な事業を行っております。

公式サイト：<http://www.kadokawa-zaidan.or.jp/>

《報道関係者のお問い合わせ先》

角川武蔵野ミュージアム「銀河鉄道 999 THE GALAXY EXPERIENCE」PR 事務局 (株式会社フルハウス)

担当：関根 (080-4812-5651)、山下 (080-4809-5142)、五十嵐

TEL：03-5413-0384、FAX：03-3401-8085、メール：kcmgg_pr@fullhouse.jp

公益財団法人 角川文化振興財団/角川武蔵野ミュージアム 広報 (齋藤・中澤)

E-mail: kadcul@kadokawa-zaidan.or.jp TEL:04-2003-8700 (代表) FAX:04-2003-8704